

AIP	Server	Desktop	Linux	Virtual	Server vPack	Cloud	Cluster	IT Pro
※「AIP」は、「ActiveImage Protector」の略です。	物理 / 仮想の Windows サーバー用	物理 / 仮想の Windows PC用	物理 / 仮想の Linuxサーバー用	オンプレミスの 仮想環境用	仮想 / クラウドの 仮想マシン用	パブリック クラウドの 仮想マシン用	物理 / 仮想の WSFC用	エンジニア向けの 作業用 エディション
バックアップ機能								
ホット / コールドバックアップ	○	○	○	○	○	○※1	○	○
ディスク/ボリューム単位のバックアップ	○	○	○	○	○	○	○	○
ファイル/フォルダー単位のバックアップ ※2	○	○	—	○	○	○	○	—
共有フォルダー (CIFS) のバックアップ ※2	○	—	—	○	○	○	○	—
バックアップから特定のファイル/フォルダーの除外 ※2	○	○	—	○	○	○	○	—
仮想マシンのエージェントレス バックアップ	○※3	—	—	○※4	—	—	—	○
増分バックアップ	○	○	○	○	○	○	○	○
重複排除圧縮	○	○	○	○	○	○	○	○
暗号化 (AES256ビットに対応)	○	○	○	○	○	○	○	○
スケジュールバックアップ	○	○	○	○	○	○	○	—
マルチスケジュール バックアップ	○	○	○	○	○	○	○	—
バックアップの世代管理	○	○	○	○	○	○	○	—
SQL Server、Exchange、Oracleのオンラインバックアップ ※2	○	○※5	—	○	○	○	○	○
MySQLデータベース、Cybozu Garoonグループウェア対応 ※6	—	—	○	○	○	○	—	—
クラスター共有ボリューム (CSVFS) の増分バックアップ	—	—	—	—	—	—	○	—
VMware vSphereのFCD (First Class Disk) のサポート	○	—	—	○	○	—	—	—
バックアップ・オプション機能								
バックアップ完了後に保存先の隔離	○	○	○	○	○	○	○	—
シャットダウン時の自動バックアップ ※2	○	○	—	○	○	○	○	—
BootCheck、検証、結合、レプリケーション：ポストバックアップ プロセス ※17	○	○	○※7	○※7	○※7	○※7	○	—
バックアップのレプリケーション：ImageCenter（無償オプション ツール）※17	○	○	○	○	○	○	○	○
スロットリング機能（バックアップタスクの負荷調整）	○	○	○	○	○	○	○	○
ネットワーク帯域制御機能（ネットワークの負荷調整）	○	○	○	○	○	○	○	○
スクリプト機能（バックアップと連動したユーザー定義のスクリプ トの実行）	○	○	○	○	○	○	○	○
コマンドライン実行	○	○	○	○	○	○	○	—
ディスク間コピー ※2	○	○	—	○	○	—	○	○
バックアップ保存先								
ActiveImage Protector専用の保存先：Actiphy StorageServer	○	○	○	○	○	○	○	○
ローカルディスク	○	○	○	○	○	○	○	○
ネットワーク共有フォルダー	○	○	○	○	○	○	○	○
クラウドストレージ（Amazon S3、Azure、S3互換）	○	○	○	○	○	○	○	○
Wasabi Hot クラウドストレージ、Neutrix Cloud	○	○	○	○	○	○	○	○
LTOテープ ※18	○	—	—	○※8	—	—	○	○
USB接続のHDD/SSD/メモリー	○	○	○	○	○	—	○	○
RDX（USB/iSCSI接続）	○	○	○	○※19	○※19	—	○	○
SFTPサーバー	○	○	○	○	○	—	○	○
起動環境								
LinuxベースのAIP起動環境を標準搭載	○	○	○	○	○	—	○	—
AIP起動環境作成ツール （Windows PE/REベース、Linuxベース） ※9	○	○	○※10	○※10	○※10	—	○	○※11
AIP起動環境のプリブート/クイック復元機能：QuickRecovery	○	○	—	○※2	○※2	—	○	—
AIP起動環境のプリブート機能：RescueBoot	○	○	○	○	○	○※20	○	—
RescueBootのリモート操作	○	○	○	○	○	○	○	—
復元専用メディアの作成：Recovery Media Maker / IT Pro Creator	○	○	—	○※2	○※2	—	○	○
復元機能								
ベアメタルリカバリー(B.M.R)	○	○	○	○	○	○	○	○
ディスク/ボリューム単位の復元	○	○	○	○	○	○	○	○
ファイル/フォルダー単位の復元	○	○	○	○	○	○	○	○
ボリュームサイズを指定した復元 ※2	○	○	—	○	○	○	○	○
異なる物理マシンへの復元：A.I.R機能 ※2	○	○	—	○	○	—	○	○
異なるハイパーバイザー上の仮想マシンへの復元： HyperRecovery	○	—	—	○※12	—	—	—	—
クラウド（AWS / Azure / Google Cloud/Oracle Cloud） の仮想マシンへの復元：In-Cloud Recovery / RescueBoot ※22	○	—	—	○	○	○	—	—
HyperVホスト全体のバックアップから仮想マシン毎の 復元：ReZoom It!（無償オプションツール）※2	—	—	—	○	—	—	—	—



ActiveImage Protector 2022 エディション別機能比較

(2024年2月9日現在)

AIP	Server	Desktop	Linux	Virtual	Server vPack	Cloud	Cluster	IT Pro
※「AIP」は、「ActiveImage Protector」の略です。	物理 / 仮想の Windows サーバー用	物理 / 仮想の Windows PC用	物理 / 仮想の Linuxサーバー用	オンプレミスの 仮想環境用	仮想 / クラウドの 仮想マシン用	パブリック クラウドの 仮想マシン用	物理 / 仮想の WSFC用	エンジニア向けの 作業用 エディション
イメージ管理機能								
バックアップの起動確認：BootCheck ※2	○	○	—	○	○	—	○	—
バックアップの検証	○	○	○	○	○	○	○	○
増分バックアップの結合	○	○	○	○	○	○	○	○
バックアップのアーカイブ作成	○	○	○	○	○	○	○	○
バックアップの同一性確認（MD5計算）	○	○	○	○	○	○	○	○
バックアップの削除	○	○	○	○	○	○	○	○
バックアップをファイルシステムとしてマウント	○	○	○	○	○	○	○	○
バックアップをエクスプローラーで展開 ※2	○	○	—	○	○	○	○	—
バックアップからiSCSI、NFS ターゲット サーバーの作成 ※2	○	—	—	○	○	—	○	—
即時復旧機能								
ディスクから仮想スタンバイ（待機）マシンの作成： vStandby	○	○	—	○※2	○※2	—	—	—
バックアップから仮想スタンバイ（待機）マシンの作成： HyperStandby	○	—	—	○※16 ※21	○※16	—	—	—
インスタントリカバリー：HyperRecovery LIVE! ※14	○	—	—	○※16	—	—	—	—
バックアップからクラウド上にスナップショット作成： In-Cloud Standby ※2 ※15	○	—	—	○	○	○	—	—
バックアップから直接仮想マシンを起動：HyperBoot （無償オプションツール）	○	○	○※16	○※16	○※16	○※16	○	○
仮想化機能								
バックアップから仮想マシン作成、VHDX/VMDKへ変換 ※2	○	○	—	○	○	—	○	○
ディスクから仮想マシン作成、VHDX/VMDKへ変換 ※2	○	○	—	○	○	—	○	○
バックアップに仮想マシンのドライバの組み込み ※2	○	○	—	○	○	—	○	○
管理と監視機能								
統合管理コンソール：ActiveVisor（無償オプションツール）	○	○	○	○	○	○	○	—
リモート管理コンソール	○	○	○	○	○	○	○	—
タスクの成功/失敗/終了のメール通知	○	○	○	○	○	○	○	—
アップデート通知、オンラインアップデート ※2	○	○	—	○	○	○	○	—
タスクをWindows イベント ログに記録 （監視ツールとの連携）※2	○	○	—	○	○	○	○	—

- ※1：ホットバックアップのみ対応となります。
- ※2：Windowsマシンのみ対応となります。
- ※3：対象の仮想マシン毎にライセンスが必要となります。また、エージェントレスバックアップ（HyperBack）のサーバ自体のバックアップを行う場合にもライセンスが必要となります。
対象の仮想マシンが2台以上であれば、「Virtual」の導入を検討ください。
- ※4：Hyper-V、VMware vSphereの仮想マシンのみ対応となります。
- ※5：Exchangeは非対応となります。
- ※6：Linuxマシンのみ対応となります。
- ※7：BootCheckはWindowsマシンのみ対応となります。
- ※8：AIP HyperAgentが導入された物理マシンのみ対応となります。
- ※9：Windows REベースのAIP起動環境作成においては、Windows ADKをインストールすることなく、Windows OSに標準でインストールされているWindows RE（Windows 回復環境）を使用してAIP起動環境の作成を行うことができます。
- ※10：LinuxマシンではWindows PEおよびWindows REベースのAIP起動環境は使用できません。LinuxベースのAIP起動環境を使用してください。
- ※11：IT Proは、専用のAIP起動環境（IT Pro Creator）から作成を行います。なお、Linuxベースの起動環境の作成には対応していません。
- ※12：エージェントベースでLVM構成のLinuxマシンから取得したバックアップは非対応となります。
- ※13：Linuxマシンから取得したバックアップは非対応となります。
- ※14：HyperRecovery LIVE!は、バックアップから直接仮想マシンを即時に起動してサービスを継続させ、稼働しながらバックグラウンドで仮想マシンにマイグレーション（復元）を行います。
マイグレーション完了後は、そのまま稼働状態に移行することができます。実質、復元時間ゼロを実現することが可能です。
- ※15：In-Cloud Standby は、バックアップからスケジュールでクラウド上にスナップショットを作成することができます。緊急時には、特定のスナップショットのボリュームから仮想マシンを起動してサービスを継続することが可能です。
- ※16：LVM構成のLinuxマシンから取得したバックアップは非対応となります。
- ※17:オブジェクトストレージに保存されているバックアップは非対応となります。
- ※18:保存先をLTOとした場合は、ボリューム バックアップ / HyperBack / ボリューム復元 / HyperRecoveryの機能のみ使用可能です。
- ※19:仮想マシンでRDXカートリッジの自動イジェクト機能を使用する場合は、iSCSI接続のRDX装置を利用してください。
- ※20:Azure上の仮想マシンで使用する場合は、Windows ADKの導入が必要になります。
- ※21:AIP HyperAgentが導入されたマシンでのみ使用可能です。
- ※22:Google Cloud Platform(GCP)、Oracle Cloud Infrastructure (OCI)環境の仮想マシンの復元作業は、RescueBootから起動した起動環境を使用してください。
- アクティファイのWebサイト：製品情報の他、各種資料やサポート情報、アップデートなど、総合的にご案内しています。
<https://www.actiphy.com/>

●各エディションのシステム要件については、システム要件のページよりご確認ください。<https://www.actiphy.com/ja-jp/support/system-requirements/>

© 2024 Actiphy, Inc. 無断複写・転載を禁止します。
本ソフトウェアと付属ドキュメントは株式会社アクティファイに所有権および著作権があります
本資料中のその他のブランド名及び製品名は、それぞれ帰属する所有者の商標または登録商標です。